

逃げ遅れゼロを目指して

～日頃から備え、早めの避難を～

6月は土砂災害防止月間です。これから大雨の時期を迎え、洪水や土砂災害などの発生する可能性が高くなります。

土砂災害の被害を防ぐためには、自分の身は自分で守るという意識を持つことが大切です。ハザードマップなどで

自宅の災害リスクや避難場所を確認し、災害に備えるとともに、正しい情報の入手方法などを確認しましょう。

また、災害時には、気象情報を確認しながら、早めの避難を心がけましょう。

問合せ／防災・危機管理課(☎232-9152)

✓ 避難のタイミングを確認しておきましょう

災害時には、市が発表する避難情報などを確認し、**避難指示(警戒レベル4)までに必ず避難**してください。

警戒レベル	避難情報など	避難行動など
5	緊急安全確保	すでに災害が発生しているか、切迫している状況です。指定緊急避難場所などへ避難することがかえって危険である場合は、 命を守るために直ちに安全確保 をしましょう。
4	避難指示	災害発生のおそれが高い状況です。危険な場所から 全員避難 (避難場所などへの避難または屋内安全確保)をしましょう。
3	高齢者等避難	避難に時間を要する方(高齢者、障害者、乳幼児など)とその支援者(家族、介助者など)は、避難 しましょう。その他の方は、避難の準備や自主的な避難を行いましょう。
2	洪水注意報 大雨注意報など ※気象庁が発表。	避難に備え、ハザードマップの「マイマップ・マイタイムライン」欄を見直すなどして、 避難行動を確認 しましょう。
1	早期注意情報 ※気象庁が発表。	災害への心構えを高めましょう。

防災気象情報(例)
氾濫発生情報 大雨特別警報など
氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 など
氾濫警戒情報 洪水情報

※国土交通省、気象庁、
県が発表。

✓ ハザードマップなどを確認しておきましょう

市では、洪水、土砂災害などの際に、注意・警戒が必要な区域を示した、ハザードマップを公表しています。**ハザードマップで、注意・警戒が必要な区域、避難する場所などを、家族で確認しておきましょう。**ハザードマップは、防災・危機管理課または市ホームページで入手できます。

また、災害時の「逃げ遅れ」を防ぐために、自分の避難のためのスケジュール表である「マイ・タイムライン」を作成しておきましょう。

▼ハザードマップ



▼マイ・タイムライン



✓ 災害情報の入手方法を確認しておきましょう

災害時は正しい情報を入手して、冷静に行動することが大切です。市では、災害が発生するおそれのある段階から、各種媒体をとおして情報を発信します。

- ・市ホームページ
- ・市メールマガジン
- ・FMぱるん(FM76.2MHz)
- ・防災行政無線
- ・防災アプリ(Yahoo!防災速報)
- ・緊急速報メール
- ・市公式SNS(LINE、X、Facebook)

市メールマガジン
(防災メール)▶



✓ お近くの避難所を確認しておきましょう

市では、すべての市民センター、市立小・中・義務教育学校を指定避難所としています。災害時には、まず市民センターを避難所として開設し、状況に応じて市立小・中・義務教育学校を開設します。体調などに応じて、施設内で居室、スペースを分けて避難者を受け入れます。

対象避難者	避難所
一般の避難者	市民センター
避難行動要支援者等	市民センター(福祉避難室)、福祉避難所
体調不良者	市民センター(個別対応)など

✓ 屋外の点検をしておきましょう

- ・集水ますにたまった落ち葉やビニール袋などの清掃
- ・トイレのし尿収集口のふたをきちんと閉める ※し尿収集口についての問合せは、衛生事業課(☎232-9160)へ。

道路の冠水などの情報を提供してください

▼土砂がたまっていたら連絡を

側溝や集水ますに土砂がたまっている場合は、道路管理課(☎232-9195)に連絡してください。

▼冠水していたら情報提供を

道路などが冠水している場合は、日時、場所、写真などの情報を、郵送またはEメールで、水戸市建設計画課(☎310-8610、✉kansui-jyoho@city.mito.lg.jp)へ提供してください。